

宇城ブランド化を図る使命がある。宇城市の農産物のブランドを確立して、消費におけるアンテナショップを考えている。

松橋駅周辺開発について

問 計画立案について、駅西地区においては、将来的に農業に意欲を持って取り組む若い経営者がいる。私は、農家支援の観点からも計画の道筋を少しでも早く立てなければならぬと思うが。

企画部次長 計画については、まず構想、基本計画、実施計画の順に作成したい。農地確保の方策については、地権者の意向を十分考慮し、農地と住宅が混在しないよう、計画区域内に農地ゾーンを設け、できるだけ集積することにより営農環境の改善につながる方策を検討したい。

MRI検診と喫煙対策について

問 MRI検診結果と検診後の対応策についてお聞きしたい。

提として、工事の規模に見合うランクであるかどうか、継続性、新規、地域性等を考えており、そうした基準に抵触する場合は、指名業者を再度選定している。

河野 正明 議員

子どもの安全について

問 不審者情報や学校行事などの連絡を、メールで保護者の携帯電話に一斉に配信するシステムの導入はできないか。
教育委員長 導入にあたっては、学校と保護者が協議の上決定している。現在、宇城市で導入を決定している学校は、小学校11校。中学校の導入はないので、中学校に今後積極的に導入を促進したいと思う。今後、保護者への啓発をし、利用方法等についても検討を重ねて効果的な運用を図りたい。

それにより保護者の加入率を向上させ、不審者情報や学校行事等がスムーズに流れ、学校と保護者間の連絡が強化されると思うので、今後、最

市長 本年10月末現在で、受診者は3503人となっている。検診結果は、軽度の異常や経過観察を必要とする方924人、再検査や精密検査が必要な方76人という結果である。軽度の異常や経過観察が必要な方に対しては、基本検診の結果と併せて、保健師による個別指導を行う。



集団健康診断

問 喫煙マナーと受動喫煙防止策に対する市職員の取り組み状況と、将来を担う児童生徒を受動喫煙の被害から守る対策はできているのか。

福祉部長 喫煙マナーと受動喫煙防止策の推進に係る市職員の行動ということで、部長会議を通し、内容を広報紙に掲載し市民にご理解をお願いしている。市の公共施設につ

いても、全て分煙対策をとっている。また、児童生徒へ十分に配慮した場所での喫煙を徹底するよう心がけている。

堀川 三郎 議員

小田良古墳について

問 昭和54年三角町最初の国の文化財として指定されたが、市としてのこれからの取り組みについてお尋ねしたい。

市長 装飾古墳としては、学術上重要と確認され、県はレプリカを装飾古墳館に展示している。市は、文化庁や国の指導を受け、地域全体のロケーションを考え、専門家を入れ、対外にアピールできるよう十分協議をし、三角の看板になるよう考えていきたい。

三角駅周辺の開発について

問 JR三角駅周辺開発基本計画と、九州デザインシャレットで研究提案されたことに對する市の取り組みは。

市長 総合計画では、三角駅周辺開発事業として22、23年

土木部長 平成20年度から22年度までの3カ年以内での設置を考えている。

問 一人暮らしのお年寄りの家庭に対し、補助を考えていただきたいが。

福祉部長 老人福祉事業の中で給付事業があり、県が3分の2、市が3分の1助成する。所得税が課税されない高齢者家庭については自己負担はなし。今後この制度を使いながら、改正消防法に見合う対策をとっていきたい。

入江 學 議員

JR松橋駅周辺整備事業について

問 どんな手法で、東側に位置する商店街の活性化につなげていかれようとされるのか。JR分析解消策と併せて考えをお聞かせしたい。

企画部次長 今回の開発において商店街の再構築は大きな課題である。東地区の整備手法としては、例えば土地区画整理事業は有効な手段であると思うが、現況の狭あいな道路、密集した住宅等を考慮す

に計画していたが、多額の事業費が必要で、再検討しなければならぬ。九州デザインシャレットの結果を踏まえ、住民のニーズ、三角港振興協議会等に諮り、実現可能な部分を検討し、財政計画と整合性を図り、年次計画を立て検討する。

問 三角フェリーが廃止となり、島原への船をどう考えているのか。

企画部次長 運航再開に向けての情報を提供して、運営会社を探している。また、定期旅客船でも運航できないかと念じているところである。

問 西港、東港、戸馳を回る船の観光ルートについてどう考えるか。

経済部長 船で回る観光ルートの開設は非常によい方策と考える。市で運航することはできないので、民間から要請があれば対応を考えたい。

問 ボートピアの進捗状況は。
市長 ボートピアについては、事業主の出方を見極めたいと考えている。

道路整備について

問 塩屋大田尾線の進捗状況はどうなっているか。

土木部長 ふるさと農道緊急整備事業が19年度完成予定なので、この道路から農免道路まで約500mの接続を来年度以降早急に整備したい。



整備が進む塩屋大田尾線

入札制度について

問 市の指名競争入札では、工事地域4名、他地域各1名を指名し、適当でない業者がいれば省くと聞いたが、適当でないとはどういう観点からか。

助役 指名の基準は、市に指名願いが出ていることを大前

企業誘致その現状と対策について

問 取り組みの状況はどんなものか。

企画部次長 本市は現在まで3企業と立地協定の調印を行っており、今月には宇城市誘致企業第4号になる会社と協定を締結する予定である。今後も総力を上げ、積極的な誘致活動に取り組んでいく。また、近年の景気回復に伴い、誘致可能地を積極的にあつ旋すると共に、優遇措置の見直し等を含め、今後進出要望に沿った優遇策を検討したい。

お詫びと訂正

宇城市議会だより第7号の8ページ、椎野議員の一般質問の見出しに誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

(正) 教育振興対策について
(誤) 職員人事の方向について



松橋駅東地区の商店街

いずれにしても、整備の方向性等については、ブロック協議会等で協議中であるので、今後十分な検討を行うと共に、先進地の成功事例等を参考に有利な事業を選択し、当地域にふさわしい商店街の再構築が図られるよう努めたい。